

# 特別展「工藝2020－自然と美のかたち－」

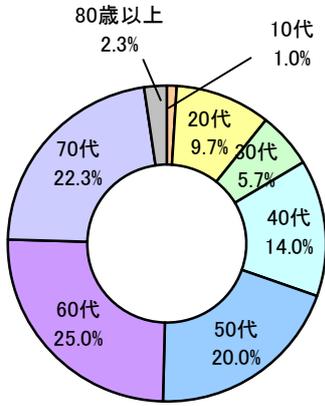
## アンケート集計結果

開催期間：令和2年9月21日（月）～令和2年11月15日（日）（48日間）

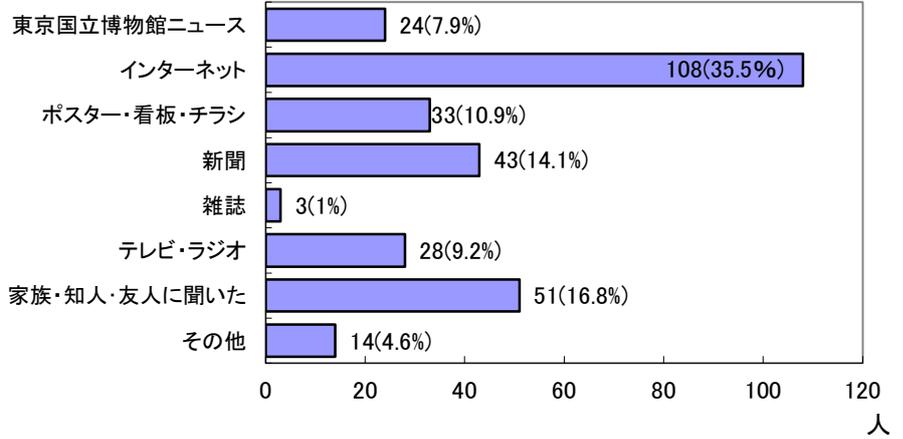
総入館者数：13,851人

回答者数：300人

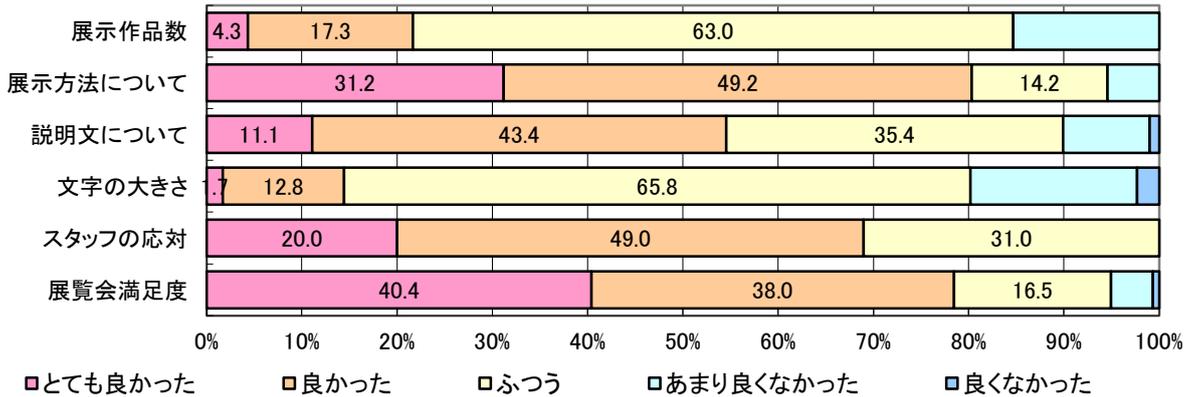
### ①アンケート回答年齢層



### ②認知経路（複数回答）



### ③展示に関する満足度



### ④主な意見・感想

- ・事前予約（日時指定）のため、静かでゆっくり観覧することができた。
- ・会場の表慶館と展示室・作品の調和が素晴らしかった。
- ・感染症対策、導線も分かりやすく、最適な観覧環境だった。
- ・作品展示の台のデザインがよかった。
- ・題箋の文字を大きく表示してもらいたい。
- ・休憩用の椅子が欲しい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	15.3	0.0
展示方法	5.4	0.0
説明文	9.1	1.0
文字サイズ	17.4	2.3
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	4.4	0.7

(%)

日本では、自然との共生による密接な精神的感性と固有の生命観が芽生えて我が国特有の工芸を発展させてきました。それは、長い歴史と文化が形成されるなかで、変化に富む地形と四季折々の気候、そして豊かな風土に育まれた自然観を要因とすることが大きいと考えられます。日本が世界に発信する芸術文化を牽引する現代の工芸を一堂に会する本展では、82名の作家らが自由な感性によって多彩な芸術表現を発揮した、優れた近年の制作品82件を鑑賞いただきました。新型コロナウイルスの影響により、オンラインによる事前予約制（日時指定券）など特異な状況での開催となりましたが、本展覧会を観覧しアンケートに答えた78.4%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことができました。また印象に残った作品について質問したところ、非常に多くの作品が挙げられました。また、今回は表慶館という建物をはじめ、照明・展示ケースを含めた展示構成の美しさについての感想が非常に多く寄せられました。その一方で、作品名称の文字をもう少し大きくしてほしい、休憩用の椅子が欲しいというご意見が寄せられました。

今度も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。